

## 協同組合 日本タイヤリサイクル協会 第33回通常総会、昼食懇親会を開催



懇親会冒頭、挨拶を行う JSRA の鳥海理事長

協同組合日本タイヤリサイクル協会（JSRA）は、5月16日、東京都千代田区日比谷の松本楼で、第33回通常総会を開催した。

総会終了後、同会場で、関係機関、賛助会員、メディアを交えて、昼食懇親会を開催された。

懇親会冒頭、JSRA鳥海重利理事長（株式会社トリウミ代表取締役）は「今日の総会は、滞りなく決り、原案通り承認された。我々、廃タイヤ中間処理業界にとっては、

一昨年に続き、今年度も、残念ながら、需給バランスが崩れたままとなり、利用先には、大変ご迷惑をかけるような状況が続くと考えている。その中でも、JSRAとしては、利用先に、極力ご迷惑をかけない様に、精一杯努力をさせて頂くので、ご理解をお願いしたい。

この様に、需給環境が厳しい状況ではあるが、JSRAの基本理念である、順法活動の順守、再資源化への積極的貢献、タイヤ業界との協調と業界の地位向上、未来と社会への貢献推進、これらを遂行すべく、利用先および、賛助会員、日本自動車タイヤ協会（JATMA）、タイヤ関連業界、行政等関係先のご協力を得ながら、対外活動等の強化を図っていく」と述べた。

続いて、来賓代表として、JATMAの、倉田健児専務理事が挨拶に立った。

その後、懇親会に参加している来賓、賛助会員、メディアが紹介され、JATMAの時田晴樹環境次長兼技術部次長が、乾杯を行った。

懇親会は、終始和やかな雰囲気で行われ、終宴した。



来賓代表として挨拶する、JATMAの倉田専務理事